

「学びの郷 南魚沼」生涯学習センターのイメージ(案)

(仮)学びの郷南魚沼生涯学習センター

- 拠点は、市民会館 2 階の旧図書館を改装し活用する。
 - ・インターネット環境整備機材配置(検索用パソコン 2 台)、コピー機等事務機能
 - ・フロアにテーブル・イス、同時に複数グループ討議できるよう簡単に間仕切りできるパーテーション・集いの場(カフェ・休憩)の提供など
 - ・土・日・休日の会議利用の便宜
- 活動範囲は、市内全域の施設や野外フィールドなどのほか市外でも
- 推進組織は、仮称「学びの郷南魚沼プラン推進委員会」
 - ・委員は生涯学習・社会教育関係者や市職員、民間団体等を含め 10 人くらいで、主体性を持ち、市民感覚で柔軟かつ機能的・能動的に動けるように。
 - ・具体的に事業推進する下部組織として、
 - ① こども たんけん南魚沼
 - ② 大人 市民カレッジ
 - ③ 高齢者 幸齢義塾
- ◎ 事務局は、社会教育課生涯学習班

- ・市民会館開館時間内は自由に入出入り可能に。

事業費 事業経費はなるべく懸けない。ふるさと納税等寄附コースの新設検討
 自主事業（現、社会教育・生涯学習・公民館事業などの整理移管の検討）
 市民提案型事業への支援地域コミュニティ、青少年健全育成、郷土史等研究などの組織活動との連携支援、国際大学、北里学院、基幹病院などの市民向け公開講座の共催や後援等の連携
 NPO団体、CCRC、IターンUターン人材の講師等活用

課 題

- ・ボランティア・コーディネーター等の人材確保の方法など(登録・人材バンク制度の活用方法)
 ※講師等の謝礼は市の報酬基準を適用。(日報酬 9,600 円、4 時間以内 4,800 円など)
- ・火気については使用できない。調理なども不可。自販機は可能。
- ・市民会館使用ため、指定管理者(公社)とも協議等が必要

(案) 学びの郷 南魚沼 生涯学習センター

必要に応じて部長参加。教育委員に諮り総合教育会議等を通じて市長への提言

仮称
**学びの郷南魚沼プラン
推進委員会**



推進委員・コーディネーター

拠点 **市民会館 2階旧図書館**

生涯学習センター事務局
社会教育課生涯学習班
生涯学習センター担当

部内連携会議
(課長・係長クラス)

事業実施と
PDCA

市長部局との連携調整
関係団体との連携調整

市民主体で、

- *市民の *市民による
- *市民のための 事業推進

学びあい、教えあい、伝えあい、そして輝くわたしと地域の実現

自己有用感高めて心豊かな健康寿命延伸と、次世代をつなぐ誇りある地域文化向上へ

市民カレッジ

◎自主事業

- ◎市民提案型事業への支援
- ◎地域コミュニティ、青少年健全育成、郷土史等研究者、JA などの組織活動との連携支援、
- ◎国際大学、北里学院、基幹病院などの市民向け公開講座の共催や後援等の連携
- ◎NPO法人、CCRC、I ターンUターン人材の参加、講師等に積極活用

たんけん南魚沼



幸齢義塾



市のお宝・歴史、文化・風習、社会資源など